

## 11月11日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①【8日のニュース】プーチン露大統領、中国中央軍事委員会副主席と会談 G7 外相会合で中東・ウクライナ議論(2023年11月8日)

プーチン大統領、中国軍事部門高官と会談

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は8日、モスクワを訪問した中国軍事委員会の張又俠副主席と会談した。

「北大西洋条約機構(NATO)加盟国は自らのドクトリンに反して自分たちの影響力を拡大し、アジアを含む地理的境界を越えようとしている」

ウラジーミル・プーチン(ロシア連邦大統領)



ロシアのウラジミール・プーチン 大統領と張又俠・中央軍事委員会副主席のその他の発言は次の通り。

ロシアと中国は、アジアに 軍事・政治ブロックを創設し、自分たちの防衛力を強化しようとする米国の試みに冷静に反応している

軍事および軍事技術の分野における露中の協力はますます重要性を増している

ロシアと中国は冷戦時代の例にならったいかなる軍事同盟も構築していない

ロシアと中国の協力関係は、世界の安全保障にとって安定をもたらす性質を有している

この日は、旧ソ連諸国の安全保障担当高官会議も開かれた。ロシアのニコライ・パトルシエフ安全保障会議書記は「米国の破壊的政策が世界の核兵器や化学兵器仕様のリスクを高めている」と述べた。



## G7 外相会合、中東・ウクライナを議論

G7 外相会合が 7～8 日、東京で開催された。議長国日本の上川陽子外相は全体会合、各国との二国間会談を行ったほか、岸田文雄首相もウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領と電話会談するなどした。



上川外相は会見で、中東情勢をめぐって G7 はイスラエルとパレスチナを 2 つの独立国として国際社会が認め、領土紛争を解決する「二国家解決」を支持することを確認したと明かした。

「ガザの持続可能な長期的な解決に取り組むことや、二国家解決が公正で永続的な平和への唯一の道であることなどで一致した」

上川陽子(日本国外務大臣)

ウクライナ情勢をめぐって上川外相は、「厳しい対露制裁、強力なウクライナ支援は不変」と強調し「支援疲れ」を感じさせないように努めた。また、中長期的な復旧・復興を官民一体で進めるとも述べた。

一方の岸田首相は、30 分にわたりゼレンスキー大統領との電話会談を行った。会談では 2024 年 2 月 19 日に東京で、日・ウクライナ経済復興推進会議を開催することで合意した。

## 米議会、露資産没収法案



凍結されたロシア政府資産を没収する権限を大統領に与え、それをウクライナや国際機関に譲渡する権限を国務長官に与える法案が、米下院委員会を通過した。

### イスラエル、戦後もガザに駐留



イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相の顧問を務めるマルク・レゲフ氏は、ガザ地区でのハマス掃討作戦が終了した後もイスラエル軍が駐留し続けると、米 CNN のインタビューのなかで述べた。「全て終わってハマスに勝ったとき、テロの要素が再興しないように、ハマスが戻らないようにするのが重要だ。そのためにはイスラエル軍の存在が必要だ」

マルク・レゲル(イスラエル首相顧問)

<https://sputniknews.jp/20231108/8g7-17633197.html>

## ②【まとめ】G7 外相会合 上川外相「二国家解決が中東和平への唯一の道」(2023 年 11 月 8 日)

日本の上川陽子外相は 8 日、東京で行われた主要 7 カ国(G7)の外相会合を終え、記者会見に臨んだ。会談の成果として中東情勢、ウクライナ情勢などで G7 が結束して対応することで合意したとアピールした。

### イスラエル・パレスチナ紛争

会見の様子は TBS など日本メディアが中継した。上川外相はまず、イスラエル・パレスチナをめぐる紛争について触れた。G7 としてはイスラエルとパレスチナを 2 つの独立国として国際社会が認め、領土紛争を解決する「二国家解決」を支持することを確認した。

「ガザの持続可能な長期的な解決に取り組むことや、二国家解決が公正で永続的な平和への唯一の道であることなどで一致した」

上川陽子(日本国外務大臣、G7 外相会合議長)

二国家解決を含め、G7 は以下の 6 点で意見が一致した。

- ・ハマスの「テロ攻撃」を断固非難
- ・人質の解放を求める
- ・ガザ地区の人道状況に関する緊急の対応を取る必要性(人道回廊、人道休戦)
- ・国際法の遵守を求める



- ・エスカレーションを避けること
- ・二国家解決が公正で永続的な平和への唯一の道



<https://sputniknews.jp/20231108/g7-17627786.html>

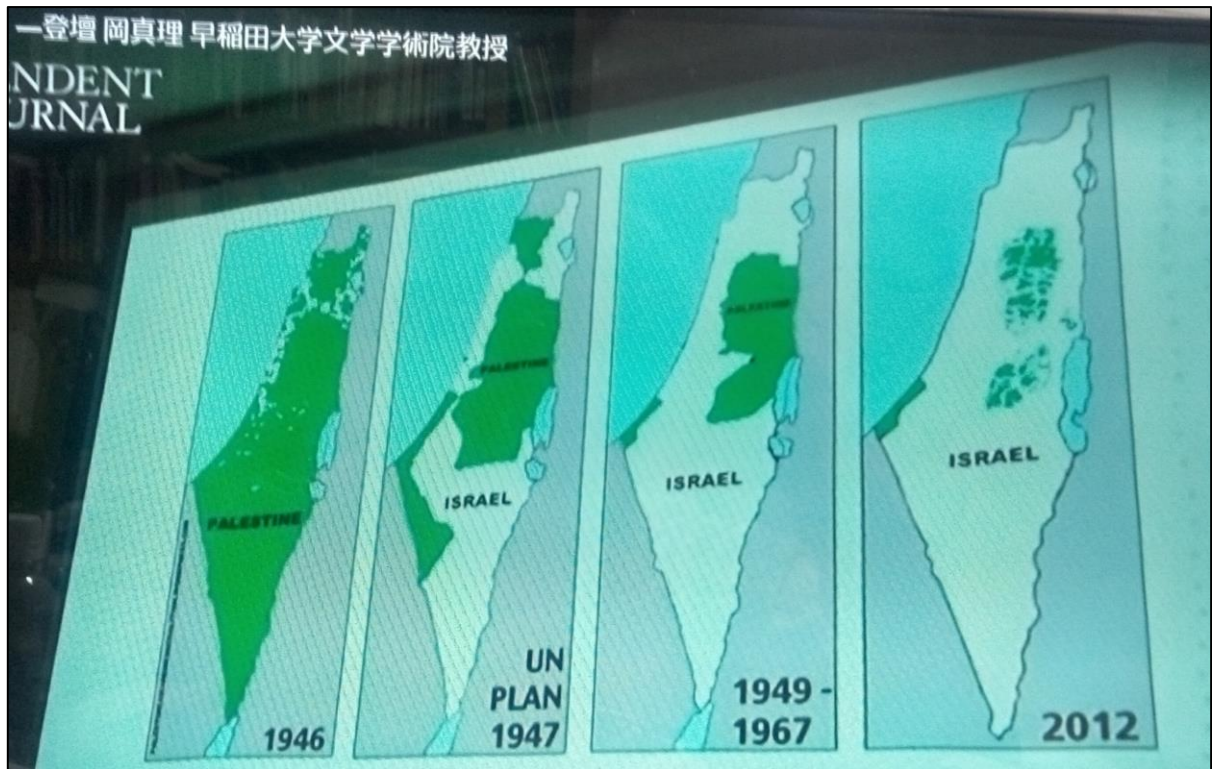
### ③毎日新聞社刊「エコノミスト」創刊100周年記念号「絶望のガザ」(2023年11月28日号)

週刊エコノミストの編集部から連絡があり、11/28号で「絶望のガザ」と題した特集が生まれ、その中で岡真理のインタビューが掲載されるそうです。ようやく登場。期待できますね。



### ④「緊急学習会 ガザとはなにか」—登壇 岡真理 早稲田大学文学学術院教授(2023年10月20日)

『地上戦が起きたら』じゃない！『暴力の連鎖』でも『憎しみの連鎖』でもない！今起きてることが既に(イスラエルによる)ジェノサイドだ〜10.20「緊急学習会 ガザとはなにか」—登壇:岡真理 早稲



<https://www.youtube.com/watch?v=VVL1r6DJQSw>

## ⑤ウクライナのEU加盟、欧州委員会が交渉開始を勧告(2023年11月9日)

(CNN) 欧州連合(EU)の行政執行機関「欧州委員会」は8日の報告書で、1年半近く前に加盟候補国に認定したウクライナについて、加盟交渉を開始すべきだと勧告した。同じ報告書でウクライナの隣国モルドバとの交渉開始も勧告した。

欧州委員会は、本格的な交渉は来年始めるべきだとしている。

フォンデアライエン欧州委員長は同日、「きょうは歴史的な日だ。なぜなら欧州委員会はきょう、欧州理事会にウクライナ、モルドバ両国との加盟交渉開始を勧告するのだから」と述べた。

ウクライナは10年以上にわたってEU加盟を強く希望してきた。2013年後半には、当時のヤヌコビッチ大統領がEUとの貿易協定を破棄してロシア接近にかじを切ったことで、街頭デモが勃発。最終的にヤヌコビッチ氏は失脚し、14年3月にロシアがクリミア半島を違法併合する事態になった。EUおよびNATO加盟をめざす方針は19年から正式にウクライナ憲法の一部になっている。

ウクライナのゼレンスキー大統領はロシアによる侵攻直前の22年2月、EU加盟を申請した。ゼレンスキー氏は今回の発表を歓迎し、「きょう、ウクライナと全欧州の歴史は正しい一歩を踏み出した」「あらゆる困難が待ち受けているが、我々は前に進む」などと述べた。

交渉開始の決定はゼレンスキー氏がめざすEU加盟への道の重要な一歩だが、一連の条件が満たされるまで交渉は始まらない。ウクライナは現在戦争中で、こうした条件が近いうちに満たされるかどうかは不透明だ。その可能性は低いとみられる。

また、ウクライナは交渉開始などに関するEUの提案を歓迎したものの、勧告には幾つかの注意書



きが付いている。とくに汚職対策問題を巡る内容は、ウクライナが現時点で受け入れるのは難しそうだ。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/03db1d9dfe832accb1749e9a10a20e52411db26b/images/000>

## ⑥ロシア上院 戒厳令時の大統領選延期認める法案を承認(2023年11月9日)

ロシアの大統領選挙が来年3月に予定されるなか、ロシア上院は、戒厳令が敷かれている場合に大統領選挙の延期を認める法案を承認しました。

ロシアメディアによりますと、ロシア上院は8日、投票に行くことでロシア国民が脅威にさらされる場合、戒厳令が実施されている地域では大統領選挙を延期できる、とする法案を承認しました。

また、戒厳令中であれば、中央選挙管理委員会が特別な手続きを導入して、投票時間の短縮などもできるとしています。

今回の法案についてロシア大統領府のパスコフ報道官は、情勢が不安定なドネツクなど併合した地域の「特別な状況」を考慮したものだと言明しています。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d45deb73db7c2ed9be71c7046c296266defb9d2f>



<https://news.yahoo.co.jp/articles/d45deb73db7c2ed9be71c7046c296266defb9d2f>

## ⑦ウクライナ大統領選に元・大統領府顧問が立候補表明 “政治的手段で失地回復する”

## (2023年11月2日)

ウクライナの元大統領府顧問が来年春に予定されている大統領選に出馬表明し、ロシアに占領された地域を政治的手段によって回復すると訴えました。

ウクライナ大統領府の元長官顧問・アレストビッチ氏は 1 日、次期大統領選への立候補を表明しました。

ウクライナメディアのインタビューで明らかにしました。

アレストビッチ氏はウクライナの NATO(北大西洋条約機構)への加盟を巡り、「ロシアに占領された土地は武力ではなく、政治的手段によってのみ回復させる」と主張しました。

ウクライナが加盟しても NATO に武力による防衛義務は生じないとの主張です。

ロシアによる占領を事実上認めるとも受け取れる内容で、1991 年時の国境線の復帰を条件にしているゼレンスキー大統領とは対照的で、ウクライナ国内からは批判の声が上がっています。

アレストビッチ氏はこれまでもウクライナは戦略的に行き詰まっていて、ゼレンスキー政権は国民を惨事に導いているなどと批判しています。

アレストビッチ氏は今年 1 月のウクライナ東部・ドニプロの集合住宅へのミサイル攻撃について「ウクライナの迎撃ミサイルだった」と誤った情報を発信したとして、大統領府顧問を辞任していました。

ウクライナの大統領選は 2024 年の春に予定されていますが、戒厳令によって実施されない可能性もあります。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/cd9b8848c2beec6b843d246ebaa2d9498b5da2ac/images/000>

## ⑧中国制服組トップが訪露 プーチン氏と会談 対欧米結束を確認(産経新聞、2023年11月8日)

中国人民解放軍の最高指導機関である中央軍事委員会で制服組トップの副主席を務める張又俠(ちょう・ゆうきょう)氏が8日、ロシアの首都モスクワを訪問し、プーチン露大統領と会談した。中国では10月末に李尚福・前国務委員兼国防相が解任された後、国防相が空席となっている。

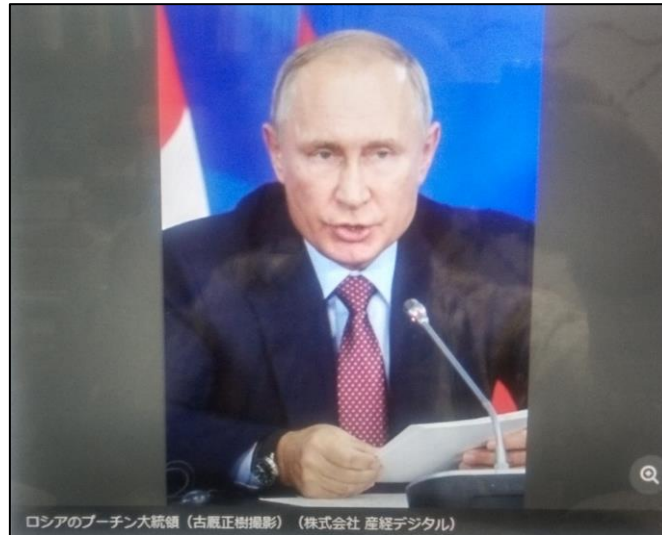
プーチン氏は張氏との会談で、米国や北大西洋条約機構(NATO)が「アジア太平洋地域にまで軍事同盟を築こうとし、地域の緊張を高めている」と主張した。米英豪の安全保障枠組み「AUKUS(オーカス)」や日米豪印の協力枠組み「クアッド」を念頭に置いたものとみられる。

プーチン氏はその上で、中露両国は欧米側の動きに「冷静に対処し、合同軍事演習などで国防力を強化していこう」と述べた。

張氏はプーチン氏との会談に先立ち、ショイグ露国防相とも会談した。

露国防省などによると、ショイグ氏は「露中は欧米諸国と異なり軍事ブロックを築いていない。露中は信頼と尊重に基づく戦略的互惠関係のモデルだ」と強調した。張氏は「中露間の包括的パートナー関係は最高レベルにある」と応じた。

両氏は軍事分野での中露の協力の推進や国際問題などを協議したという。



ロシアのプーチン大統領 (古藤正樹撮影) (株式会社 産経デジタル)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a0b29bfa8a768def48ee10477db2dc974ece9bbb/images/000>



## ㊟ロシア軍事裁、ウクライナ兵に懲役 19 年 民間人殺害の罪(2023年11月8日)

【AFP = 時事】ロシアの軍事裁判所は 8 日、同国の支配下にあったウクライナ・マリウポリ (Mariupol) で民間人を殺害した罪で起訴され、ロシア国内で拘束されていたウクライナ兵に対し、懲役 19 年を言い渡した。

ロシア側の捜査によると、ウクライナ海軍の歩兵アントン・チェレドニク (Anton Cherednik) 被告は、当時ロシア軍が掌握していたマリウポリ市内で巡回に当たっていた際、ロシアからの潜入者と疑われた民間人 2 人を呼び止め、うち 1 人を殺害したとされる。

ロシア南部を管轄する、ロストフナドヌー (Rostov-on-Don) の軍事裁は 8 日、チェレドニク被告に対し、殺人などの罪で懲役 19 年を言い渡した。最初の 3 年は刑務所に収監され、残る刑期は矯正労働収容所で務めるという。

前日 7 日には、ウクライナ東部のロシア側当局がウクライナ兵 4 人に対し、マリウポリでの戦闘の最中に民間人を暴行したとして、各被告に長期刑を科していた。

一方ウクライナ側も、戦争犯罪を犯したとして複数のロシア兵を裁判にかけ、有罪判決を言い渡して





ロシア・ロストフ州の裁判所に出廷したウクライナ兵アントン・チェレドニク被告（2023年11月8日撮影）。【翻訳編集】 AFPBB News (AFP=写真)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a99e37481c82abaf1eb206f1416d56c2cc4bf784/images/000>

### ⑩米、ウクライナ支援資金の96%をすでに利用＝ホワイトハウス(2023年11月9日)

【ワシントン 8日 ロイター】-米ホワイトハウス国家安全保障会議(NSC)のカービー戦略広報調整官は8日、米政府はウクライナ支援に割り当てた資金の96%をすでに利用したと明らかにした。

カービー氏は記者団に対し、ウクライナのロシア軍に対する反転攻勢の進展が遅れているとの認識を示しながらも、ウクライナは自国の領土を取り戻せると米国は確信していると述べた。



米ホワイトハウス国家安全保障会議(NSC)のカービー戦略広報調整官は8日、米政府はウクライナ支援に割り当てた資金の96%をすでに利用したと明らかにした。写真は11月8日、ホワイトハウスで記者会見するNSCのカービー戦略広報調整官(2023年 ロイター/Leah Millis)(ロイター)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6b4d95676e4e1711af292436b3afc364620fa770/images/000>

### ⑪日・ウクライナ経済復興推進会議を2月19日に東京で開催(テレ朝、2023年11月8日)

岸田総理大臣はウクライナのゼレンスキー大統領と電話で会談し、来年2月19日に日・ウクライナ経済復興推進会議を東京で開催することで合意しました。

会談で岸田総理は8日まで東京で開かれたG7(主要7カ国)外相会合で、中東情勢が不安定化す

るなかでもロシアへの厳しい制裁や強力なウクライナ支援に変わらず取り組むことを確認したことを伝え、ウクライナとともにあるという日本の立場は揺るがないと、伝えました。

ゼレンスキー大統領は日本の立場や支援に対し、深い謝意を示したということです。

そのうえで、両首脳は来年 2 月 19 日に日・ウクライナ経済復興推進会議を東京で開催することで合意し、引き続き緊密に連携していくことで一致しました。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/d219e0af387b1d0d81f7f1f579a47a5d230093da/images/000>

## ⑫モリさんの予言した流行語「新しい戦前」を「戦中」にしてはいけない(ラサール石井、2023年11月9日)

【ラサール石井 東憤西笑】#179

今年も流行語大賞のノミネートが発表された。

並み居る流行語の中に、ひっそりとたたずむ「新しい戦前」を見つけた。ご存じタモリさんが徹子の部屋で発した言葉、去年の暮れに「来年はどんな年になるかしら」と問われた答え。はやっては廃れる流行語の仲間に加えるにはもったいない、今の時代を映した普遍の表現だ。

あれから 1 年、まさにタモリさんの予言通り、時代はますます「新しい戦前」の様相を呈している。ウクライナ、そしてガザでは市民を巻き込む悲惨な戦闘が行われ、日本の政治家は、次は台湾有事で血を流す覚悟をしると訴える。

マイナンバーカードにはあらゆるものが紐付けされる。それは戦前に医療や建設など特定の労働者を把握する目的の「職業能力申告手帳」が作られ、戦争に備えて必要な人材を必要な時に連れて行ける「国民徴用令」が施行され、さらに拡大して「国民労務手帳」となったのに酷似している。「徴兵制」につながる流れだ。

東京新聞に今年 93 歳で、毎月 3 日に国会前に立ち続けるノンフィクション作家、澤地久枝さんの記事が出た。

澤地さんは終戦当時、満州で 14 歳。ゴリゴリの軍国少女だったが、ソ連軍の侵攻で関東軍は住民を置いて逃げてしまい、ソ連兵にレイプされかけるなどしながら命からがら帰国。それから自分を反省し、一貫して反戦を訴えてきた。大江健三郎氏らと始めた「九条の会」も今は澤地さんだけになった。2015 年から毎月 3 日には雨の日も風の日も、要介護 4 の体をおして国会前に立ち続ける。

澤地さんには、「戦死という『異形の死』を日本に繰り返させてはならない」という強い願いがある。

「戦死はほかの死とは違う。権力者の命令に従って戦場へ送り込まれ、自分では何も選べないまま殺されてしまうの」と言う。

ミッドウェー海戦での日米の全戦没者 3418 人の細かい資料を調べ上げた。アメリカの遺族も積極的に協力してくれた。夫をミッドウェー海戦で亡くし、遺児の息子をベトナム戦争で亡くした女性がいた。

「これこそが日米の戦後の違いですよ。戦後の日本に戦死者がいないのは、憲法 9 条があって、再び戦争をさせない歯止めになってきたからです」

日本でもアメリカでも「お国のために戦死してよかった、と言った遺族は一人もいなかったもの。戦死しては駄目なんです」

今はイスラエルの侵攻にも反対する。国会前には毎月 3 日に 200 人ほどの人が集まる。英国、フランス、ドイツ、インドネシアでは、街を埋め尽くすほどの人々がデモをしているのに。日本人には「お上には逆らえねえ」根性が染み付いているのか。澤地さんに若者たちが続かねば。いざ「戦前」が「戦中」になってしまってからではもう手遅れだ。

(ラサール石井／タレント)



<https://news.yahoo.co.jp/articles/87adbec05bea2d58e5bf004bc448969cc2c410a3/images/000>